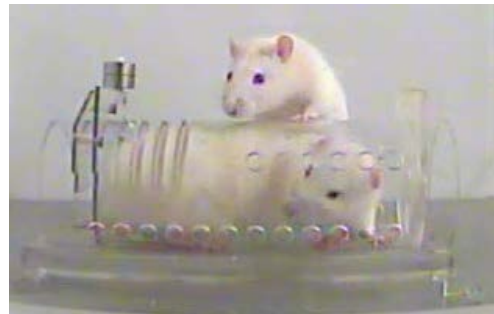




文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究

「共感性の進化・神経基盤」

第1回領域会議



日時：2014年1月11日（土）、12日（日）

会場：総合研究大学院大学葉山キャンパス 共通棟2階講堂



タイムテーブル

1月11日	12:30-13:00	受付	
	13:00-13:10	開会のご挨拶	
	13:10-13:40	計画研究1「共感性の系統発生」	代表 渡邊 茂
	13:40-14:00		分担者 伊澤 栄一
	14:00-14:20		分担者 藤田 和生
	14:20-14:35	計画研究2「共感性の個体発生」	代表 長谷川 壽一
	14:35-15:10		分担者 橋彌 和秀
	15:10-15:30		分担者 齋藤 慈子
	15:30-15:50	Coffee Break	
	15:50-16:20	計画研究3「ヒト社会における共感性」	代表 亀田 達也
	16:20-16:40		分担者 山岸 俊男
	16:40-17:00		分担者 清成 透子
	17:00-17:20		分担者 樋口 さとみ
	17:20-18:50	ポスターセッション @総研大共通棟1階101・102	
	19:00-21:00	懇談会 @湘南国際村センター ホワイエ	
1月12日	09:30-10:00	計画研究4「遺伝子の進化系統解析」	代表 村山 美穂
	10:00-10:20		分担者 井上 英治
	10:20-10:50	計画研究5「共感性の適応理論」	代表 大槻 久
	10:50-11:10	Coffee Break	
	11:10-11:40	計画研究6「共感性の分子調整機構」	代表 菊水 健史
	11:40-12:00		分担者 茂木 一孝
	12:00-13:30	昼食 および 総括班会議	
	13:30-14:00	計画研究7「共感性の神経内分泌制御」	代表 尾仲 達史
	14:00-14:20		分担者 高柳 友紀
	14:20-14:40		分担者 吉田 匡秀
	14:40-15:00	Coffee Break	
	15:00-15:30	計画研究8「共感性の神経回路解明」	代表 駒井 章治
	15:30-15:50		分担者 池田 和司
15:50-16:05	外部評価委員講評		
16:05-16:15	閉会のご挨拶		

※発表について、代表者は発表15分質疑応答15分、分担者は発表12分質疑応答8分を基本とします。



## 計画研究1 「共感性の系統発生」

共感性はヒトにおいて特に発達した社会的認知能力であるが、ヒトだけに見られるものではない。この班では動物との比較研究により、共感性を生み出した系統発生的な随伴性を明らかにすることを目指します。

1. 「マウスの共感における視覚手がかり」 渡邊 茂 (代表)
2. 「カラスにおける共感性の行動学的基盤」 伊澤 栄一 (分担者)
3. 「サルとイヌにおける共感性関連行動—予備報告」 藤田 和生 (分担者)

## 計画研究2 「共感性の個体発生」

情動伝染からヒト特有の同情が成立するプロセスを解明し、さらに、非定型発達児における共感性の推移解析を行い、ヒトの認知情報処理基盤と社会・文化的要因の相互作用を通して共感性が成立するプロセスに迫ります。

1. 「コミュニケーション発達において共感が占める位置 (イントロダクション)」  
長谷川 壽一 (代表)
2. 「コミュニケーション発達において共感が占める位置 (理論的展望と定型発達研究)」  
橋彌 和秀 (分担者)
3. 「コミュニケーション発達において共感が占める位置 (非定型発達研究)」  
齋藤 慈子 (分担者)

## 計画研究3 「ヒト社会における共感性」

実験ゲームと脳機能画像計測を軸に、ヒト社会に特徴的な協力的行動の成立過程を解明すると共に、ヒトの情動伝染に関わる神経回路の同定を目指します。

1. 「ヒトの高次共感と正義判断のメカニズムをめぐって」 亀田 達也 (代表)
2. 「ホモエコノミカスは共感性に欠けるか？」 山岸 俊男 (分担者)
3. 「ヒトの社会的意思決定における dominance とテストステロンの果たす役割」  
清成 透子 (分担者)
4. 「他者を観察する際に意図的に視点を変化させた際の脳機能活動について」  
樋口 さとみ (分担者)

## 計画研究4 「共感性を支える遺伝子の進化系統解析」

共感性の進化的背景について、鳥類から霊長類までの広い動物種において、表現型と遺伝型の関連解析を行います。ゲノムワイドな遺伝子探索や、オキシトシンなど神経伝達・ホルモン伝達に関連する遺伝子の配列や機能の種間比較を通して、共感性の系統進化の解明を目指します。

1. 「共感性に関わる候補遺伝子の種間比較」 村山 美穂 (代表)
2. 「共感性の進化を支える遺伝的基盤：  
野生霊長類の遺伝構造と父系血縁者間での血縁びいき」 井上 英治 (分担者)

## 計画研究5 「共感性の適応理論」

理論モデルを通して、情動の伝染が適応的となる行動生態学的条件の解明を目的とします。また、ヒトの示す向社会性の進化に、模倣や同調という情報伝達様式と他者の内部状態の推論という高次の共感性が果たした役割の解明を目指します。

1. 「共感性の適応理論の構築に向けて」 大槻 久 (代表)

## 計画研究6 「共感性の分子調節機構」

痛み情動伝染をモデルとし、共感性に関与する帯状回の機能に関与する遺伝子を探索します。さらに、オキシトシン発達障害モデルを用い、情動伝染に関連する分子変動の同定を目指します。

1. 「マウス痛み情動伝染における個体経験の影響」 菊水 健史 (代表)
2. 「マウス発達脳におけるオキシトシンの解析  
～共感性の分子・回路基盤の解明に向けて」 茂木 一孝 (分担者)

## 計画研究7 「共感性の神経内分泌制御」

オキシトシンを始めとした神経ペプチドによる共感行動の修飾機能の解明と、神経ペプチドの脳内作用部位の同定を目的とします。これにより、共感性を修飾する神経ペプチド作動性神経回路を明らかにすることを目指します。

1. 「共感性・社会行動におけるバズプレシン・オキシトシンの働き」 尾仲 達史 (代表)
2. 「摂食・遊びにおける情動伝染とバズプレシン・オキシトシンの働き」  
高柳 友紀 (分担者)
3. 「条件恐怖ストレスにおける行動と神経内分泌反応の解離：共感性との関連」  
吉田 匡秀 (分担者)

## 計画研究8 「共感性を支える神経回路解明」

個体行動イメージや神経活動を統計解析により詳細に解析し、得られたデータを基に単一個体の情動行動はもとより、複数個体が存在した場合の共感行動と神経回路の関連性解析の解明を目指します。

1. 「共感性の進化・神経基盤の解明を目指した行動解析および神経機能解析について」  
駒井 章治 (代表)
2. “Bayesian Inference for Inverse Problems”  
池田 和司 (分担者)





### 計画研究1 「共感性の系統発生」

1. 「ウマにおけるオキシトシン受容体遺伝子の多型解析」 堀 裕亮
2. 「イヌにおける第三者間のやりとりの感情的評価」 千々岩 眸
3. 「ストレス条件による恐怖記憶保持への影響」 新保 彰大
4. "Conditioned Test Aversion to Investigate Empathy in Mice" Bouchekioua Youcef

### 計画研究2 「共感性の個体発生」

5. 「自閉症スペクトラム者における顔状刺激の意識下処理」 明地 洋典
6. 「自閉症スペクトラム児における顔への注意と手の模倣」 菊池 由葵子
7. "Yawn contagion as a possible expression of empathy in carnivores" Romero Teresa
8. 「互恵的な個体は意図のある不公平な提案も拒否する  
-協力不可欠な報酬分配場面と簡易版最後通牒ゲームにおけるフサオマキザルの行動-」 瀧本 彩加
9. 「自閉症スペクトラム幼児の自発的模倣」 小林 洋美
10. "Infants use pointing to inform the New One for the other" 孟 ケンイ
11. 「幼児期における発話意図理解の傾向性について  
-「みみうち」を用いたコミュニケーションから」 石川 勝彦

### 計画研究3 「ヒト社会における共感性」

12. 「ヒトにおける自他間の苦痛の共有過程 -生理的喚起の同期化に着目して-」 村田 藍子
13. 「ヒトの生活史における資源分配戦略の個人差  
: 生活史理論、パーソナリティ特性、共感性との関連」 新井 さくら
14. 「協力者と非協力者を区別する動画課題最中の注視部位と  
自閉症傾向に関する探索的検討」 井上 裕香子

### 計画研究4 「共感性を支える遺伝子の進化系統解析」

15. 「ヒトに対する視線利用行動の犬種差」 今野 晃嗣
16. 「比内地鶏生産現場における密集事故発生に関わる  
行動特性の測定と関連遺伝子の探索」 高橋 大希

## 計画研究6 「共感性の分子調節機構」

17. 「イヌーヒト間における同調行動の生物学的意義」 永澤 美保
18. 「ヒトは人形に共感するか？」  
オキシトシン神経系を介したヒトのロボットに対する社会的注視 岡部 祥太
19. 「認知能力の犬種間比較と関連遺伝子の探索による  
イヌの進化に関する研究」 外池 亜紀子
20. 「イヌの体位・情動と心拍変動の関連」 片山 真希

## 計画研究8 「共感性を支える神経回路解明」

21. 「緊急時に特有な微細逃避動作と神経活動間の対応関係の発見に向けて」 鈴木 裕輔
22. 「動作クラスター推定によるマウスの共感関連行動の自動解析」 渡辺 仁
23. 「抽象画鑑賞時の注視点時間変化における画家-素人間の差異」 小出 真子

